

授業科目名	国際観光論	単位数	2単位
担当教員名	野統祐貴	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
①国際観光が発展してきた歴史的背景と現状についての知識を得る。 ②国際観光に関する諸現象について、社会学・観光社会学の基本的なキーワードを用いて理論的に考えられるようになる。 ③国際観光にはどのような問題があるのか、またどのような可能性があるのかについて、歴史的・理論的に考えられるようになる。			
授業の概要			
21世紀は「観光の世紀」とも呼ばれているように、日本でも国際的にも、この20年間に観光産業の規模や旅行者数は数倍に増え、観光産業は世界GDPや雇用の約10%を占めています。また経済的效果だけでなく、観光は観光客や現地の人々の人生のなかで意味をもったり、都市や観光地の文化を生み出したり変化させたりする場合があります。こうした観光のインパクトについて様々な学問分野で議論が重ねられ、それを理論的に説明する概念が編み出されてきました。この授業では国際観光の歴史的背景や現状について学ぶとともに、社会学や人類学、歴史学での観光にかんする理論を紹介します。そして国際観光についての歴史的・理論的な理解を深めることを目指します。			
授業計画			
第1回:観光とは何か/観光学とはどのようなものか(第I部 第1章/第2章) 第2回:近代的観光の発展(第I部 第3章) 第3回:ポストモダン社会と観光(第I部 第4章) 第4回:観光客のまなざし(第III部 第1章) 第5回:真正性(第III部 第2章) 第6回:伝統の創造(第III部 第3章) 第7回:ディズニーランド化(第III部 第4章) 第8回:メディア(第III部 第5章) 第9回:観光経験(第III部 第6章) 第10回:パフォーマンス(第III部 第7章) 第11回:ホスピタリティ(第III部 第8章) 第12回:遊び(第III部 第9章) 第13回:ジェンダー(第III部 第10章) 第14回:ポストコロニアリズム(第III部 第11章) 第15回:観光まちづくり(第III部 第12章) 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編, 2014, 『観光学ガイドブック—新しい知的領野への旅立ち』ナカニシヤ出版. 9784779508264			
参考書・参考資料等			
遠藤英樹, 2007, 『ガイドブック的!観光社会学の歩き方』春風社. 9784861101267 矢ヶ崎紀子, 2017, 『インバウンド観光入門—世界が訪れたい日本をつくるための政策・ビジネス・地域の取り組み』見洋書房. 9784771029286 白幡洋三郎, 1996, 『旅行ノスス—昭和が生んだ庶民の「新文化」』中央公論新社. 9784121013057			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			